

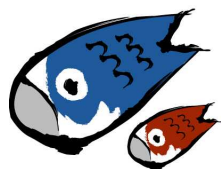


学校だより

## 青い鳥

平成28年度5月号  
さいたま市立上落合小学校  
平成28年5月2日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381  
http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/ E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



## 出 会 い

校長 藤澤 太郎

この度の熊本地震では、多くの方が被災されました。大きな揺れが長期間続いているとことで、避難生活の長期化が懸念されます。お見舞いを申し上げます。時期を同じくして、エクアドルでも大地震が発生しました。このところ、世界各地で地震が発生しています。世界規模で地殻の変動期に入ったとか、プレートの大移動だとか諸説あるようです。災害（地震）に対する備えは、学校はより一層万全にしなければならないと気を引き締めているところです。

さて、今年の桜は、ずいぶん長い間私たちを楽しませてくれました。でも、月中の大風であつという間に濃いみどりの葉桜に変身してしまいました。毎日見ていた側からすると、あれから一週間、木の根元から楽しみに見上げることさえ忘れてしまっています。4月の初めの心もちはどこへ行ってしまったのか？と自問します。その桜の木の下で、子どもたちは元気いっぱい活動しています。特に、1年生の子どもたちのあどけなさ、小さいながらも緊張している面もちは、「真に純粋な心」と共に、「これからどんな人になるだろうという無限の可能性」を見せてくれています。そして、若葉や通る風が本当に気持ちの良い季節となってきました。

そんな中、4月の終わりに離任式を行うことができました。久しぶりに旧メンバーがそろって、この日は、昨年度までの学校の雰囲気に戻ってきたような、ワーツと盛り上がった一日となりました。去られた先生方の話は、次の学校の印象と本校での思い出話が主です。その話を聞いて感じたことは、その先生と受け持ったであろう子どもとの間に、相当な良い関係があったのだろうということです。僕は実際にその関係を見ていませんけれど、大変うらやましく思いましたし、いい時間だなあと思いました。

この日、次に感じたことは、出る方もそうですが送る方の気持ちもあるなということです。それはこんなことです。昨年度までの人間関係や組織が良かったと思えば、去る人のことを大切に思うでしょう。そして、(学校に)残った者としては、「あの人がいてくれれば」となる訳ですが、よく考えてみると、「あの人がいなくてもそんなに日常は変わってはいないのではないのでしょうか？児童も先生方も人間集団であり、ある程度の組織的な活動をしてきたわけですから、去る人が残してきたものは、いなくなっても当然残っていて機能しているはずです…気持ちのことをこれ以上述べても、これは「思い」とか「情」の話になってしまいます。出る方は「複雑」、送る方は「整理がつかない」というのが4月の気持ちとしておきましょう。

この時期に優先して考えたいのは、新しく入った人（との出会い）も含めて、児童も先生も現在のクラス（大きな集団）の状況や、一人ひとりのことであると思います。つまり、前の通りにはいかないこともこの先多少出てくるのでは？ということです。いろいろなことが「前の通り」にできれば簡単なのですが、少しずつでもまわりとかかわり、全体の状況を確認し、考えながら進むことが「本当に楽しい」ことにつながるのでしょうかね。出会いの楽しさや素晴らしさは、後になってわかることになっているようです。

連休も後半にさしかかります。是非有意義に過ごしてほしいと思います。5月に入って、今度は、できるだけ爽やかな気候が長続きしてくれるよう期待したいと思います。

## 学校教育目標

あかるく

なかよく

たくましく